

高純度石英ガラス部品と独自の加工技術で さまざまな分野へ世界を網羅する製品を提供

1973年の創業以来、高純度石英ガラス(クォーツ)の特性を活かした照明用部品を主軸に展開してきている。石英ガラスは石英(SiO₂)から作成されるガラスで純度が高く、耐熱性、光の透過率に優れ、さらに薬品に対しても反応が少ない特性を持っている。その特性を最大限に活かした同社製品の用途は拡大し続け、現在では照明用のみならず、産業用・半導体・理化学用・分析・医療用まで多岐にわたるソリューションを顧客に提供し、各方面から高い評価を得ている。

所在地 兵庫県加西市大内町945番地
電話/FAX 0790-44-1143 / 0790-44-1259
URL <http://takaidenki.co.jp>
代表者 代表取締役 高井 伸浩

設立 1973年
資本金 2,000万円
従業員数 76人



本社工場、中国・上海を製造拠点としたネットワークによる全世界への製品供給

同社は、研究開発・製造を行う本社工場のほか中国・上海に製造拠点として合弁会社を有し、グループのネットワークを通してきめ細かく世界を網羅する製品を提供している。同社の得意とする特殊な「ファイアポリッシュ加工」により、ガラス製品の透明化を確立し、パナソニック、東芝ライテックをはじめとする大手照明企業との関係性は深い。今後も「シリカガラス前駆体製造方法」を確立させ、さらなる市場拡大に繋げていく計画である。



中国の製造拠点

産学連携による「シリカガラス前駆体製造方法」の確立

景気の動向や新型コロナウイルスなど外的要因によっても影響を受けにくい製品作りとして、コロナ禍において、より需要が高まる分析・医療関連製品の開発に注力し、まったく新しい石英ガラスの製造方法を確立させていく。九州大学で発明された「シリカガラス前駆体製造方法」の応用を同社の技術力でを行い、半導体、光学、殺菌、医療等の先端技術・環境関連に寄与する製品を製造する。超複雑な形状を自由性を持って造形可能、低コストを実現させ、付加価値を高める計画としている。



分析・医療関連製品

地域の企業との協力関係を構築し、地域における雇用拡大に貢献

近隣に外注先を有し、当社より機械設備を貸与し、加工技術・品質管理を指導することにより技術力・管理力の教育を通じて確かな製品の供給を受けている。また、設備、部品も同社オリジナルであるため各メーカーと共同で設計・施工をして供給を受けている。「アラジン」ブランドで有名な兵庫県加西市の地元企業である(株)千石の多種多様な機種種のグラファイトヒーターの基幹部品として石英ガラスの供給をしており、地域の協力体制で経済効果を生み出している。



(株)千石のグラファイトヒーター